

# ProMED-mail情報 2015年 2月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
28日	ラッサ熱 ナイジェリア	ナイジェリアの36の州のうち23の州でラッサ熱は深刻な問題となっている。2013年には1195名の罹患者に39名の死者、2014年には989名の患者に36名の死者。80%の症例では明確な症状がないか軽度だが、20%で重症化し、致死率50%。
25日	ロスリバーウイルス感染症 オーストラリア	クイーンズランド南部では週に1000の単位でロスリバー熱の感染者が増えると推測。2015年に入ってすでに1000人の感染者。豪雨と高潮が蚊の発生を増加。
22日	A型肝炎 メキシコ	TlaxcalaのTeolocholco地方自治体が5～14歳の小児A型肝炎感染50例の流行を報告。肛門-口の経路やヒト-ヒト感染があり、トイレの後に手を洗わないなどで汚染された水や食物を介して感染。小児のA型肝炎の大多数は無症状で、発展途上国での流行は通常は稀。
22日	アルテミシニン耐性 マラリア ミャンマー	2015年2月20日、薬剤耐性のマラリアがミャンマーからインド境界部に近づいていると報告。同様の耐性を持つウイルスはカンボジア、ラオス、タイ、ベトナムなどで発見されており、ミャンマーではすでに国中に広がっていると見られている。
19日	クリミア・コンゴ出血熱 インド	Bhad村の55歳男性が、クリミア・コンゴ出血熱の徴候を示しRajkot市民病院の隔離病棟に収容された。検査ではデング熱が陽性であり、検体はPuneのインドウイルス学研究所に送られた。北西インドは流行地。
17日	黄熱 ブラジル	Goiás州で22歳男性が黄熱のため死亡。都市政府によれば男性はGoiásのあちこちに移動しており、最近はAlto ParaísoのMoinho地区在住。家族はブラジルに在住。都市政府は地元民と旅行者に黄熱ワクチン接種を推進。
12日	ハンセン病 ナイジェリア	国内で毎年4000例が発症。その12%が小児であり、10%以上に変形を伴っている。身体障害、ハンセン病が不治であるという間違った思い込みや感染への恐怖が、患者迫害の原因。
11日	狂犬病 インド	2015年2月9日、Naidu感染症病院で40歳の男性が狂犬病のため死亡。今年2例目。Raigad郡のMangaonのIndapur住人は一か月前に右手を犬に咬まれた。しかしながら彼は抗狂犬病ワクチンも即効性の狂犬病抗体も使用しなかった。2013年の死亡者数は138名。
9日	E型肝炎 フィリピン	東北大学医学部大学院の研究によれば、フィリピン農村部におけるHEV抗体の保有率は、その地域で飼われているブタの数に伴って上昇。
8日	口蹄疫 韓国	昨年12月忠清南道で2頭の豚に口蹄疫発生。今年1月京畿道仁川で豚1頭、牛1頭に口蹄疫発生。多くの人々が移動する旧正月に向けて感染拡大の危険あり。
3日	麻疹 米国（フロリダ州）	フロリダ保健局はフロリダを訪れた旅行者に、麻疹ワクチンの接種歴のない4例の患者が発生したと警告。2015年1月に全米14州で84例の患者発生。フロリダでは幼稚園児の93%がワクチンを接種。
2日	風疹 台湾	1月29日台湾CDCは、台湾北部に住む41歳男性が今年最初の風疹患者であると発表。その患者は海外渡航歴がなく、国内での感染と診断。台湾では2014年に7例の風疹症例が発生し、そのうち6例は輸入例。
2日	鳥インフルエンザ(H5N8) 韓国	農林畜産食品部によると、先月末アヒル農場で飼われている三匹の犬のうち一匹に高病原性H5N8株を確認。犬は感染鳥を摂食。その農場の労働者447名の検査結果はすべて陰性だった。